

## ライオンズクラブ国際協会が新国際会長として ダグラス X. アレキサンダーを選出

(2021年7月1日、米イリノイ州オークブルック) - 世界最大の奉仕団体、ライオンズクラブ国際協会が、今夏の第103回国際大会の中で同団体の2021～2022年度国際会長としてダグラス X. アレキサンダーを選出した。

定年退職前はJP モルガン・チェース銀行でバイスプレジデントを務めていたアレキサンダー会長は、ライオンズクラブの世界的会員増強、地域社会への奉仕事業のインパクト増加、そして、ライオンズクラブ国際財団が3億ドルのファンドレイズを目指す「キャンペーン100」の最終年の支援に力を注ぐ。

「私たちには、すべての人にとってよりよい世界を作るというビジョンがあり、そのビジョンは自分たちが住む地域から始まります」と、アレキサンダー会長は言う。「世界中の140万人のライオンズを励まし、心から奉仕することで実現できることを見せてもらうのを楽しみにしています」

アレキサンダー会長の今年のメッセージは「心からの奉仕を」。心のなかにある奉仕の精神を体現してほしいという世界中のライオンズと人々への呼びかけだという。

アレキサンダー会長は、1984年にブルックリン・ベッドフォード・ストウイベサント・ライオンズクラブに入会して以来、クラブ会長、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、副地区ガバナー、地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、DGE グループリーダーなど、協会内で数多くの役職を歴任してきた。

また、ライオンズアイバンクの運搬員、地区及び複合地区元地区ガバナー連合会のメンバー、ニューヨーク州及びバミューダ・ライオンズ財団の理事を務めたほ

か、2012～2014 年にはユニセフ・ニューヨークのライオンズ代表に任命された。米国/カナダ・ライオンズ・リーダーシップ・フォーラム計画委員会およびホスト委員会に参加し、いくつかの米国/カナダ・フォーラムにおいてプレゼンターも務めている。

協会への貢献が認められ、クラブ・ライオン・オブ・ザ・イヤー、クラブ会長賞、ロバート J. アップリンガー奉仕賞、複数の地区ガバナー感謝アワード、複合地区会員増強賞など、数々の賞を受賞している。また、多くの国際会長感謝状、7 回の国際会長賞、そして国際協会より会員に与えられる最高の栄誉である親善大使賞も贈られている。Dr. フランクリン G. メイソン・フェロー、W. P. ウッズ・フェロー、プログレッシブ・メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンズでの活動に加え、専門分野や地域社会に関わるさまざまな団体に活躍しており、ニューヨーク・アーバン・リーグの諮問委員会の委員長、聖フランシス・デサレスろう学校の理事を務めたほか、連邦議会議事録賞も受賞している。

アレキサンダー会長には 2 人の娘がおり、奉仕のパートナーであるシャビキ・カザボンは、プログレッシブ・メルビン・ジョーンズ・フェローのライオンである。

### ライオンズクラブ国際協会について

ライオンズクラブ国際協会は、世界最大の奉仕クラブ組織であり、48,000 余りのクラブに属する 140 万人以上の会員が、世界 200 の国と地域で奉仕しています。1917 年以来、ライオンズは労力奉仕と人道事業を通して各地域社会を強化してきました。ライオンズクラブ国際財団の惜しみない支援により、私たちはその奉仕のインパクトをさらに拡大しています。ライオンズクラブ国際協会は、視力保護、環境保全、小児がん、食料支援、糖尿病、さらにその他の切迫した人道的ニーズに集中的に取り組むことで、人類が直面している最大の課題の克服に貢

献しています。ライオンズクラブ国際協会の詳細については、ウェブサイト  
([www.lionsclubs.org](http://www.lionsclubs.org)) をご覧ください。

###